

FaceTracker（生体認証ソリューション）

FaceTracker 顔認証システム

FaceTrackerは、独自の顔認証技術で監視カメラに映った映像から人物を特定し通知する機能を有しています。

建物や店舗、養護施設、幼稚園、保育園などの人の出入りを監視し、ポリシーに従って、コンソールやモバイル端末へ通知をしたり、パトライトなどと連携してアラームを発生させることができます。

ウォークスルーでの検知が可能で、人の流れを止めずに監視が可能です。



ウォークスルー認証-監視カメラ映像を高速で解析

フェイストラッカーは、監視カメラで捉えた人物の顔を高速に解析します。

養護・介護施設や保育園、幼稚園、学校などの登園、下校時の防犯に役立てることができます。認証デバイスの前で立ち止まって認証する必要がなく、多人数を高速で見分けることが可能です。

複数人を同時認証-1台のカメラ映像で最大5名の顔認証を実現

フェイストラッカーは、1台のカメラで同時に5人の顔情報を認証可能です。

複数の利用者が同時に通る場合でも対応可能です。

システム拡張性-既存の監視カメラシステムの利用が可能

フェイストラッカーは、監視カメラとの連携が可能です。

施設に設置している既存の監視カメラやレコーダーを活用することも可能です。

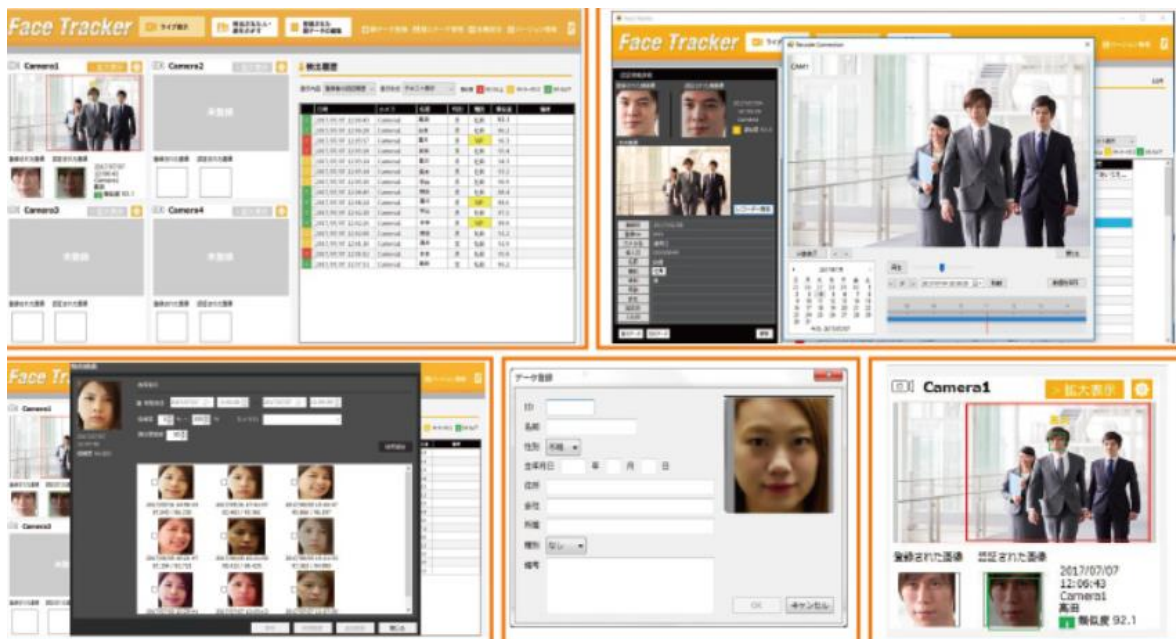
リアルタイム通知-顔認証結果を手元のデバイスへ即座に通知

登録された、あるいは登録外の人物を認証すると、あらかじめ指定したデバイス(PC、モバイル端末、アラームなど) 認証結果をリアルタイムで通知します。

*スマートフォン、タブレット用モニタリングソフトは、Androidのみの対応です。

*通知デバイスは最大30台まで設定が可能です。

専用画像解析ソフトウェア

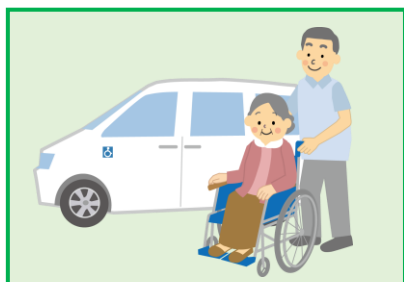


専用の画像解析ソフトウェアは、監視カメラから取得した顔映像から、登録された人物か、あるいは登録外の不審者なのかを判別し、PCやモバイル端末で通知したり、必要に応じてアラームを鳴らすことができます。

主な利用例



保育園・幼稚園・学校などの登下校時での不審人物監視。
園児、保護者などをあらかじめ顔画像登録しておき、認証者以外の不審人物を検知すると、PC、やモバイル端末へ通知し危険を知らせます。



介護養護、病院などの施設で院外へ出ようとする患者さんを検出し、複数のスタッフへ通知し、迅速な対応を可能にします。
また、マンション、店舗などの不特定人物が出入りするような環境での利用。